

令和4年度 事業報告書

自 令和 4年4月 1日

至 令和 5年3月31日

社会福祉法人 新見市社会福祉協議会

令和4年度 事業報告書

【概要】

令和4年度もコロナ禍の影響を受けながらも、地域福祉を推進する中核的な団体として、誰もが支え合いながら安心して暮らすことができる「ともに生きる豊かな地域社会」づくりを推進し、市民の皆さまの協力や行政・関係機関等との連携により、計画に定めた事業について、ほぼ計画どおり実施することができました。

事業計画に定めた3つの基本目標ごとに事業の成果について概要を説明します。

まず、「基本目標1. 福祉の心を育てよう」では、10月23日に福祉大会を開催し、市民や福祉関係者多数の参加があり、記念講演や地域福祉活動実践者の発表などにより地域福祉への関心を高めることができました。また、市民の皆さまにとって分かりやすい内容や必要な情報にアクセスしやすくなるようホームページをリニューアルするとともに、新見市のWEB企業ガイド、月刊フリーペーパー、社協だより、Facebook、マスコミへの情報発信等により本会の情報を市民に広く広報し、福祉意識の啓発や本会への理解促進に努めました。

福祉教育の推進では、参加者が福祉の視点に気づき、福祉活動への関心を高められるよう、介護予防体操のDVDを作成し、高齢者施設に寄贈するなど、コロナ禍での新たなメニューによる夏のボランティア体験事業や小学校全校でのちょボラ運動、出前福祉教室などに取り組みました。

専門ボランティアの養成では、災害ボランティア推進事業として、災害ボランティア養成講座の開催や岡山県、岡山NPOセンター主催の交流セミナーへの後援のほか、新見公立大学「地域防災演習」に職員派遣を行いました。また、手話奉仕員養成講座では、7名が基礎課程を修了し、傾聴ボランティアでは、フォローアップ研修を開催し、新規のボランティア登録もありました。

次に「基本目標2. とともに支えあおう」では、各サロンと密接に連絡を取りながらサロン事業の継続を促すとともに、サロン研修会の開催、サロンマップ・コロナフレイル予防リーフレットの作成等を行い、居場所や交流の場づくり、見守り支え合う地域づくりを推進してまいりました。また、サロン立ち上げへの支援を行い、4か所で新規のサロンが立ち上がりました。

昨年度はコロナ禍で延期や中止となった福祉連絡会も各地区で開催することができ、福祉委員への役割周知や民生委員・児童委員等との連携強化を促進するとともに、福祉委員ガイドブックを新たに作成するなど福祉委員活動の支援を行ってまいりました。

また、地区社協の活動や友愛訪問なども、関係者の様々な工夫により実施され、高齢者の不安感の軽減や住民同士の交流の機会の確保など地域福祉の推進を図りました。

地域での支え合いの推進では、“笑顔”結びプロジェクト第4弾として開催した折り紙作品展に、個人や団体、ふれあいいきいきサロン、福祉施設などから664点の応募があり、どの作品もすばらしく地域住民の力を感じることができ、福祉大会の会場に展示するとともに、地域福祉センターロビーに展示し、多くの方に鑑賞していただきました。

また、地域課題や生活支援サービス創出に向けて協議する場である小地域ケア会議は、今年度23地区で開催することができ、生活支援コーディネーターや福祉関係者、関係機関等が連携して地域の福祉課題の把握やその解決に向けての支援を行うとともに、地域の見守り・支え合い活動等の創出、各種研修会の開催支援のほか、地域福祉活動の基盤となる地域運営組織設立支援等を行い、7地区において組織が設立されました。

地域活動担い手養成を目的とする無理しない地域づくり講座は9名の受講があり、参加者それぞれが地域活動など、やってみたいことを具体化したマイプランを作成しました。3月には次年度に向けたプレ講座も開催し、新たな受講者の参加促進を行うとともに、修了者が無理なく活動できるよう継続的に支援を行いました。

次に「基本目標3. 福祉環境の充実を図ろう」では、新見市成年後見相談センターを中核機関として位置づけ、成年後見制度の普及啓発、利用促進や後見人支援などの機能の充実に努めるとともに、家庭裁判所や行政など関係機関との連携強化に努めました。主な取組として、12月には市民後見人をテーマに権利擁護推進セミナーを開催するとともに、市民後見人の育成支援としてフォローアップ研修を開催しました。こうしたことから市内で、市民後見人が9名となり、3名が実際に後見人として活動を始

められました。また、法人後見事業では、令和4年度に新たに8名の受任があり、急激に増加しているところですが、適正に後見業務が行われるよう努めてまいりました。

6月と3月に開催したなんでも相談会では、31件と29件というこれまでで最高の相談があったとともに、相続に関する研修会にも多くの参加者があり、相続問題への関心の深さがうかがえました。

新見市生活相談支援センターでは、フードドライブ事業を通年実施し、多くの方から食料等の寄付を受け、生活に困窮される方への支援や大学生等への配布を行うとともに、12月には、寄付された食料等を使って食事の提供と居場所の確保としてぴおーらキッチン（地域食堂）を開催し、200人を超える参加者があり、生活に不安を抱える方の支援や地域との交流の機会を確保しました。

昨年度新たに開始したピオーラカフェ（認知症カフェ）は、専門職による講話や大学生による企画コーナーなど参加者にとって気軽に交流でき、認知症について理解することができる場となり順調に開催することができました。

また、社会福祉法人連絡協議会では、全戸に対して法人連協だよりを配布し、組織や公益的な取組などについて周知するとともに、フードドライブ事業などの制度の狭間の方への支援や職員研修会の開催などに取り組んでまいりました。

3つの基本目標に加え本会が実施している介護サービス事業については、新型コロナや1月の大雪に伴う営業休止、感染予防のための利用自粛などもあり、厳しい状況ではありましたが、より一層、利用者の立場に立った安全で質の高いサービスの提供に努めてまいりました。また、総合経営企画室が中心となって介護保険事業所経営会議を開催し、各事業所の現状・課題の把握、今後の方向性等について検討してまいりました。その結果、令和5年度から本所と神郷支所の2カ所の訪問介護事業所については、将来に向けての安定的な事業運営等を目指すことを目的に統合し、神郷ヘルプセンターを、中央ヘルプセンターのサテライト事業所に変更することとしました。

法人運営では、不足する介護人材の確保や安定経営に向けて、関係機関への要望や広報の強化に努めました。

各事業の実施状況については次のとおりです。

法人運営事業

【理事会】

	開催期日	出席者数	主な議案
1回	令和4年 6月 7日	理事9人 監事1人	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度事業報告・決算 資金収支補正予算（第1号） 監事候補者の推薦 評議員候補者の推薦、評議員選任・解任委員会開催 評議員選任・解任委員会の委員の選任 苦情解決第三者委員の選任 定時評議員会の開催 （報告）会長・常務理事職務執行状況 （報告）介護職員処遇改善計画
2回	令和4年12月13日	理事7人 監事1人	<ul style="list-style-type: none"> 資金収支補正予算（第2号） 理事候補者の推薦 評議員会の開催 （報告）労働条件に関する調査の結果 （報告）会長・常務理事職務執行状況
3回	令和5年 1月26日 （書面決議）	理事10人 監事2人	<ul style="list-style-type: none"> 評議員候補者の推薦、評議員選任・解任委員会の開催
4回	令和5年 2月24日	理事9人 監事1人	<ul style="list-style-type: none"> 神郷ヘルプセンター運営規程の廃止 中央ヘルプセンター運営規程の一部改正 障害福祉サービス事業運営規程の一部改正

5回	令和5年 3月14日	理事10人 監事2人	<ul style="list-style-type: none"> ・資金収支補正予算（第3号） ・規程の一部改正（3規程） ・規程の制定（1規程） ・令和5年度事業計画・資金収支予算 ・評議員会の開催 ・予備費の充当 ・（報告）日常生活自立支援事業実施状況調査の結果 ・（報告）事業評価委員会の結果
----	------------	---------------	---

【 評議員会 】

	開催期日	出席者数 (評議員)	主 な 議 案
1回	令和4年 6月23日	16人	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業報告・決算 ・資金収支補正予算（第1号） ・監事の選任
2回	令和4年12月20日	17人	<ul style="list-style-type: none"> ・資金収支補正予算（第2号） ・理事の選任
3回	令和5年 3月23日	18人	<ul style="list-style-type: none"> ・資金収支補正予算（第3号） ・令和5年度事業計画・資金収支予算 ・（報告）事業評価委員会の結果

【 各種委員会 】

評議員選任・解任委員会		設 置 平成29年3月29日
委員構成（5人）	◇外部委員5人	
内 容	◇評議員の選任・解任を行う。	
開催状況	期 日：令和4年6月13日 5人出席 協議内容：評議員（1人）の選任について 期 日：令和5年2月 8日 5人出席 協議内容：評議員（11人）の選任について	

苦情解決第三者委員会		設 置 平成17年10月1日
委員構成（2人）	◇人権擁護委員2人	
内 容	◇福祉サービス利用者等から苦情申し立てがあった場合に解決のための審議を行う。	
開催状況	期 日：令和4年9月13日 2人出席 協議内容：苦情解決第三者委員の役割について 社協の取組状況と苦情解決の現状等について	

地域福祉活動基金運営委員会		設 置 平成17年4月1日
委員構成（6人）	◇社協理事5人 ◇行政関係者1人	
内 容	◇地域福祉活動基金の管理運営及び基金による事業の実施についての審議を行う。	
開催状況	期 日：令和4年12月13日 4人出席 協議内容：基金の運用状況について 今後の基金の運用について 基金利息の活用について	

事業評価委員会		設 置 平成23年12月22日
委員構成 (6人)	◇社協理事3人 ◇社協評議員1人 ◇社協監事1人 ◇行政関係者1人	
内 容	◇地域福祉活動計画に掲げた事業の進捗状況を把握し、評価を行う。	
開催状況	期 日：令和5年2月21日 5人出席 協議内容：令和4年度の事業評価 (33事業) について	

【 総合経営企画室 】

社協組織体制検討会議		
管理職員等	局長、次長、課長、支所長、総務課係長、地域福祉推進課係長	
内 容	◇社協の組織体制の強化等に向けた検討を行う。	
開催状況	◇支所業務量調査：令和4年5月～7月 (各支所で実施) ◇支所の体制と今後の地域福祉推進のあり方について 第1回：令和4年8月25日 協議内容：社協組織の現状課題及び支所業務量調査の結果に基づく現状課題の共有 第2回：令和4年9月 8日 協議内容：組織体制の今後のあり方 (支所機能、職員配置、本所支所の業務のあり方等) 第3回：令和4年9月15日 協議内容：組織体制の今後のあり方 (支所機能、支所長配置、本所支所の業務のあり方等のまとめ)	

介護保険事業所経営会議		
管理職員等	局長、次長、参事、総務課係長、事業所管理者	
内 容	介護保険事業所の安定経営と介護サービスの充実等について検討する。	
開催状況	◇人材確保等の現状課題や魅力アップに向けた取組等について検討 ・居宅介護支援事業 (本所・神郷) 計1回 (7/11) ・訪問入浴介護事業 (本所) 計2回 (7/11、8/26) ・通所介護事業 (本所・神郷) 計3回 (7/11、8/26、9/12) ・訪問介護事業 (本所・神郷) 計4回 (7/11、8/2、8/26、9/15) ◇訪問介護事業における課題とサテライト事業所の設置について検討 ・業務視察：高梁市社協 令和5年1月31日、美咲町社協 令和5年2月1日 (Zoom) ・検討会議：計6回 (1/17、2/6、2/13、2/16、3/6、3/20)	

【 危機管理体制の整備等 】

BCP策定会議		
管理職員等	局長、次長、課長、参事、総務課係長、事業所管理者等	
内 容	災害時における業務継続の優先度等についてまとめたBCP (業務継続計画) を策定する。	
開催状況	第1回：令和4年10月31日 4名出席 第2回：令和4年11月11日 12名出席 以降、各部署で協議 第3回：令和5年 3月24日 8名出席	

【 寄付金 】

内 訳	令和4度		令和3度	
	件数 (件)	寄付額 (円)	件数 (件)	寄付額 (円)
香典返し寄付金	162	3,165,000	181	3,815,000
退院内祝い寄付金	4	60,000	1	5,000
一般寄付・その他	20	873,159	12	369,016
合 計	186	4,098,159	194	4,189,016

【基金運営事業】

◇令和4年度 地域福祉活動基金の状況

種類	金額(千円)	利率	年間利息(円)	期間
第51回利付国債	100,000千円	0.300%	300,000円	30年
第171回利付国債	50,000千円	0.300%	150,000円	20年
定期預金	50,000千円	0.025%	12,500円	1年
合 計	200,000千円		462,500円	

◇基金利息の運用：心配ごと相談事業、福祉委員等ボランティア活動保険料、友愛訪問事業に充当

【 役職員研修 】

開催状況	内 容	参加者
役員研修 令和4年12月13日	新見市社協における地域共生社会への取組について 講師：常務理事兼事務局長・地域福祉推進課長	理事・監事 8人
職員研修 令和5年 2月15日	新見市社会福祉法人連絡協議会研修会を聴講 講師：岡山県認知症介護指導者 介護士 藤井一樹氏	18人

【 健康経営に関すること 】

開催状況	内 容	参加者等
職員研修 令和4年 8月23日	メンタルヘルス勉強会 講師：新見公立大学 山野井尚美氏	50人
ストレスチェック 令和4年 8月～9月	対象者：職員、嘱託職員、臨時職員	52人

【 新見市地域福祉センター貸館事業 】

利用件数	204件
利用料合計	482,240円

【 福祉用具貸出事業 】

車いす貸出件数	35件
電動ベッド貸出件数	4件

地域福祉事業

1. 福祉の心を育てよう

事業名	福祉大会	事業区分	自主事業
事業概要	市民の福祉意識の醸成や地域福祉活動の普及を目的として、地域住民による助け合い・支え合い活動の発表や記念講演などによる大会を定期的を開催する。		
取組内容	<p>10月23日 まなび広場にいみ大ホール 240人参加</p> <p>◇支えあい活動の取組発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊永地区福祉ネットワーク「買い物ツアー」 ・足立地域振興会「いきいき足立健康教室」 <p>◇記念講演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師 倉敷芸術科学大学 客員教授 濱家 輝雄 氏 「人生100年時代～まだまだこれから！～」 <p>◇折り紙作品展（応募総数49名664点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“笑顔”結びプロジェクトの一環として実施 		

事業名	福祉情報発信	事業区分	自主事業
事業概要	福祉意識の醸成や本会の活動を広く知ってもらうことを目的として、広報紙やSNS等効果的な媒体により、本会の活動や地域福祉活動の実践例について情報発信を行う。		
取組内容	<p>◇公式 Facebook での情報発信 随時</p> <p>◇社協だよりの作成・発送 年6回（奇数月）</p> <p>◇ホームページでの情報発信 随時</p> <p>◇ホームページのリニューアル（3月）</p> <p>◇WEB 企業ガイド「ニイミノシゴト」に登録</p> <p>◇フリーペーパー「にいみいろ（令和5年4月号）」に特集記事を掲載</p>		

事業名	社協会員の加入促進	事業区分	自主事業																																										
事業概要	地域福祉の活動の充実や、その周知により社協会員の加入促進を図る。																																												
取組内容	<p>社協会員の募集</p> <p>◇地域住民、団体等が会員となり、福祉意識の向上と住民主体の活動推進を図ることを目的とする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">令和4年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> </tr> <tr> <th>会員の種類</th> <th>会員数(口)</th> <th>納入額(円)</th> <th>会員数(口)</th> <th>納入額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通会員</td> <td>7,649</td> <td>7,297,500</td> <td>7,668</td> <td>7,412,000</td> </tr> <tr> <td>賛助会員</td> <td>49</td> <td>147,000</td> <td>48</td> <td>144,000</td> </tr> <tr> <td>特別会員</td> <td>236</td> <td>1,180,000</td> <td>238</td> <td>1,185,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7,934</td> <td>8,624,500</td> <td>7,954</td> <td>8,741,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>◇普通会员の加入状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>依頼世帯</td> <td>9,331世帯</td> <td>9,485世帯</td> </tr> <tr> <td>加入世帯</td> <td>7,632世帯</td> <td>7,668世帯</td> </tr> <tr> <td>加入率</td> <td>81.8%</td> <td>80.8%</td> </tr> </tbody> </table>				令和4年度		令和3年度		会員の種類	会員数(口)	納入額(円)	会員数(口)	納入額(円)	普通会員	7,649	7,297,500	7,668	7,412,000	賛助会員	49	147,000	48	144,000	特別会員	236	1,180,000	238	1,185,000	計	7,934	8,624,500	7,954	8,741,000		令和4年度	令和3年度	依頼世帯	9,331世帯	9,485世帯	加入世帯	7,632世帯	7,668世帯	加入率	81.8%	80.8%
	令和4年度		令和3年度																																										
会員の種類	会員数(口)	納入額(円)	会員数(口)	納入額(円)																																									
普通会員	7,649	7,297,500	7,668	7,412,000																																									
賛助会員	49	147,000	48	144,000																																									
特別会員	236	1,180,000	238	1,185,000																																									
計	7,934	8,624,500	7,954	8,741,000																																									
	令和4年度	令和3年度																																											
依頼世帯	9,331世帯	9,485世帯																																											
加入世帯	7,632世帯	7,668世帯																																											
加入率	81.8%	80.8%																																											

事業名	歳末たすけあい配分金事業	事業区分	自主事業
事業概要	一人暮らし高齢者等があたたかい歳末と明るいお正月を迎えられるよう、歳末たすけあい募金を活用して友愛訪問活動等を実施する。		
取組内容	◇歳末たすけあい訪問 ・民生委員の協力を得て、下記対象者へ1世帯あたり3,000円の訪問金を配布した。 ① 満80歳以上の高齢者のみの世帯 1,247世帯 ② 重度心身障がい者 19世帯 ③ 準要保護児童・生徒のいる世帯 38世帯 ④ 75～79歳のひとり暮らし高齢者 19世帯 ※②④は市県民税非課税者 合計 1,323世帯 配分金額合計 3,969,000円 ◇学校等への図書カード配布：認定こども園、保育所、小中学校等 合計 38校・園 2,400人 配分金額合計 311,000円 ◇「ぴおーらキッチン」の事業費に充当		

事業名	小学生向け福祉教育(ちょボラ)	事業区分	自主事業
事業概要	小学生に対して、福祉に関する学習と体験の機会を提供し、学童期からの福祉意識の醸成を図る。		
取組内容	◇小学生ちょボラ実践：10～12月の間の2週間 ・事前説明会：各校とZOOMで実施（14校参加） ・ちょボラノートによる活動実施（全17校参加、取組児童411名） ◇活動報告書(ちょボラだより)の作成・配布		

事業名	夏のボランティア体験(※第27回)	事業区分	自主事業
事業概要	中高生を対象にボランティア活動の機会を提供し、研修会で福祉に関する学びの場を設けボランティア意識の醸成を図る。		
取組内容	◇研修：ボランティアの意義、「地域や人を笑顔にするためにどんなことができる？」 ◇活動①新見産ひのきの玉みがき 参加者：20名 講師：にいみ木のおもちゃの会 藤本 忠男氏 ※ひのき玉を市内2か所のデイサービスへ寄贈 ◇活動②介護予防体操DVD作成 参加者：6名 講師：げんき広場にいみ 藤本広平氏 ※市内32か所の高齢者施設へ寄贈、レクリエーション貸出備品として活用 ◇活動報告書(夏ボラ新聞)の作成・配布		

事業名	出前福祉教室	事業区分	自主事業
事業概要	学校や職場、地域に出向き、福祉に関する講座や体験を通して地域住民の福祉意識の醸成を図る。		
取組内容	◇出前福祉教室 ・地域のニーズに応じた講座を実施 ・高齢者疑似体験、車いす体験、共同募金、権利擁護、認知症理解等 実施件数 5件 ・井倉小学校：高齢者疑似体験、車いす体験 ・新見南小学校：高齢者疑似体験 ・がんこじいさんの会(サロン)：権利擁護 ・新見第一中学校：ふるさとキャリア教育における校外学習受け入れ		

事業名	災害ボランティア推進事業	事業区分	自主事業
事業概要	災害ボランティアの養成、登録を推進し、災害時に迅速に活動できる体制を整備する。		
取組内容	◇災害ボランティア養成講座（基礎編）7月31日 参加者：30名 ・災害ボランティアや災害ボランティアセンターについての基本的な知識を学ぶ ・災害ボランティアの近年の動向、災害支援活動のノウハウと豆知識 講師：NPO かけはし 大森功資 氏 ・災害ボランティア登録の説明 ◇新見公立大学 健康科学部共通教養科目「地域防災演習」への職員派遣 ・災害ボランティア活動とボランティアセンターの機能説明 ・災害ボランティア活動のロールプレイ など ◇災害ボランティア登録者への情報提供及び関連の行事・研修会への呼びかけ ・岡山県・岡山NPOセンター主催「被災地支援に取り組む人と組織の交流セミナー」 参加者：23名		

事業名	傾聴ボランティア推進事業	事業区分	自主事業
事業概要	一人暮らし高齢者等を月1回程度訪問し、話し相手になることで孤独感や不安の軽減を図る。		
取組内容	◇傾聴ボランティア訪問 ・3件、延べ22回訪問 ◇傾聴ボランティアフォローアップ研修会（20名） 講師：新見公立大学健康科学部地域福祉学科准教授 小松尾 京子氏		

事業名	手話講座	事業区分	市受託事業
事業概要	手話を学ぶ機会を提供し、聴覚障害者への理解を深める。		
取組内容	◇手話奉仕員養成講座（基礎課程） 実施回数 24回(48講座) 受講者数・修了者数 7名		

2. とともに支えあおう

事業名	ふれあいいいきサロン	事業区分	市受託事業
事業概要	介護予防、地域での交流・仲間づくりの促進を目的として、身近な地域で誰もが参加しやすい集いの場づくりを行う		
取組内容	<p>◇各地区でふれあいいいきサロン実施（66サロン、延べ527回開催、延べ5,305名参加）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区別サロン数（新見43、大佐7、神郷6、哲多7、哲西3） ・コロナにより休会・未実施6サロン、自主開催サロン6サロン <p>◇サロン・集いの場研修会（11月10日、新見市役所南庁舎3階会議室、45名参加）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業説明 ・講演「コロナ禍で考える～地域のサロンや集いの場の意義とこれから～」 講師：ご近所福祉クリエイター 酒井 保 氏 ・レクリエーション用品の紹介 <p>◇げんき広場インストラクター派遣（35サロンに派遣）</p> <p>◇活動拠点整備費事業（備品整備2サロン）</p> <p>◇活動・立上げ推進（随時）</p> <p>◇レクリエーション備品の貸出（44回）</p> <p>◇ふれあいいいきサロンマップの作成・配布</p> <p>◇講師の取次ぎ</p> <p>おでかけ健康教室（44サロン）、くろかみ在宅支援センター（1サロン）、ヤクルト健康教室（18サロン）、訪問看護ステーション出前講座（8サロン）</p> <p>◇新型コロナウイルス感染症の拡大防止の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルコールスプレー、除菌ウェットティッシュ等の配布 		

事業名	ひだまりサロン	事業区分	自主事業
事業概要	障害者(児)とその家族などの当事者同士の交流や孤立感・不安感の解消を目的とした集いの場づくりを行う。		
取組内容	◇ひだまりサロン実施（活動サロン3サロン、開催回数延べ22回、参加者延べ147人）		

事業名	子育て支援事業	事業区分	自主事業
事業概要	地区社協・にいき子育てカレッジと連携・協働し、子育て支援のネットワークづくりを行う。		
取組内容	◇子育てカレッジ事務局会議・運営協議会等に参加		

事業名	福祉委員設置活動支援	事業区分	自主事業
事業概要	地域のアンテナ役である福祉委員の設置推進を図り、民生委員・児童委員等と連携した地区内の見守り活動や地区社会福祉協議会等の活動を推進する。		
取組内容	<p>◇福祉委員の設置(委嘱状交付)</p> <p>740地区839人に委嘱</p> <p>◇福祉連絡会（全地区対象）</p> <p>第1回：福祉委員の役割説明 31地区28会場にて参加者 628人</p> <p>第2回：地域課題について等 22地区21会場にて参加者 363人</p> <p>第3回：地域課題について、今年度のまとめ等 1会場にて参加者 138人</p>		

事業名	独居高齢者宅戸別訪問事業	事業区分	市受託事業
事業概要	独居高齢者の安否確認と見守り活動を進め、孤立感の解消を図る。		
取組内容	◇80歳以上独居高齢者世帯訪問 支所別実績(月平均) 本所 327人、大佐 27人、神郷 40人、哲多 45人、哲西 35人		

事業名	友愛訪問事業	事業区分	自主事業
事業概要	見守り支え合う地域づくりの推進を目的とした訪問活動を実施する。		
取組内容	◇年3回各地区で友愛訪問事業を実施 ・対象:75歳以上ひとり暮らし高齢者世帯・80歳以上高齢者のみの世帯 ・新見地区 延べ3,758回、大佐地区 延べ476回、神郷地区 延べ419回、 哲多地区延べ483回、哲西地区延べ514回 計5,650回 ◇友愛訪問事業説明会:8月4日 参加者43名		

事業名	地域ささえあい推進事業	事業区分	市受託事業
事業概要	各地域で住民と生活支援コーディネーター等の専門職とが一緒になって地域課題について協議する小地域ケア会議を推進し、地域に必要な支え合い活動の創出支援を行う。		
取組内容	◇地域資源の把握・整理 ・生活支援サービスの把握 「にいみ暮らしを支えるサービス一覧表」の掲載内容確認・作成 ・福祉連絡会、小地域ケア会議においてニーズ把握 ◇生活支援サービス・ニーズの見える化・普及 ・「地域活動コレクション ver.4」の作成 ・豊永地区「買い物ツアー」、足立地区「足立健康教室」の映像化と福祉大会での発表 ◇小地域ケア会議の開催・設置推進 ・全41地区中23地区設置 ◇支え合い活動の基盤となる組織づくりの立ち上げ支援 ・設立地区:刑部、豊永、大竹、蚊家、八鳥、大野部、上刑部 ・設立準備地区:宮河内、布瀬、高瀬 ◇サービスの開発・マッチング ・小地域ケア会議(第2層協議体)などで出された地域の福祉課題に基づく活動創出支援 ・介護・認知症予防につながる集いの場“ピオーラカフェ”の実施 全6回 ・介護予防・助け合い活動につながる集いの場の創出に向けた住民向け研修会 (サロン・集いの場研修会、大佐地域福祉研修会、哲多地域福祉研修会) ・地域ケア個別会議への参画 全10回 ◇関係者間のネットワーク構築 ・地域共生社会コアメンバー会議 全6回 ・各地域共生社会推進チームで情報交換、情報共有 全41地区 ・新見市小地域ケア会議関係職員研修会 ・新見市地域づくり関係職員研修会 ・生活支援コーディネーター情報交換会 ・岡山県介護支援専門員協会新見支部との情報交換、情報共有 ◇生活支援サービスの担い手の養成及び活動支援 ・無理しない地域づくり講座 '22 全3回 ・無理しない地域づくり講座 '23 プレ講座 ・各地域での支え合い活動支援 ◇その他 ・第2層生活支援コーディネーター新任訪問研修 ・福井県勝山市社協より視察受入。新見市の取組紹介		

事業名	地区社会福祉協議会の支援	事業区分	自主事業
事業概要	地域における各種団体の横の関係づくりや情報の共有化を図り、住民主体の組織づくりを行うとともに、専門職と連携しながら生活課題に対応できる仕組み作りを行う。		
取組内容	◇地区社協の支援と情報提供:48 地区 ◇小地域福祉活動計画策定支援 ・小地域福祉活動計画に基づいた活動支援…上市地区（第2次） ・地域運営組織将来計画策定支援…大竹、蚊家、八鳥、大野部、上刑部 ◇地域運営組織設立に向けての協議(福祉部設置による組織強化) ・設立地区：刑部、豊永、大竹、蚊家、八鳥、大野部、上刑部 ・設立準備地区：宮河内、布瀬、高瀬 ◇にいみ福祉大会における地域活動実践発表 ・豊永地区「買い物ツアー」、足立地区「足立健康教室」の映像化と福祉大会での発表		

事業名	無理しない地域づくり講座	事業区分	自主事業
事業概要	地域活動の担い手や協力者を増やすために、無理なく楽しく地域づくりに取り組むきっかけとなる講座を行う。		
取組内容	講師 (有)エコカレッジ 代表取締役 尾野寛明氏 第1回:6月4日(土) 参加者8名 第2回:7月2日(土) 参加者9名 オンライン相談会:7月29日(金)、8月5日(金) 参加者3名 第3回:9月17日(土) 参加者8名 R5プレ講座:3月18日(土) 参加者11名		

3. 福祉環境の充実を図ろう

事業名	なんでも相談会	事業区分	自主事業
事業概要	地域住民が抱える様々な困りごとに対し、市内外の法律や福祉等の専門職に無料で相談できる場を提供する。		
取組内容	◇弁護士、司法書士など専門職による相談会を年2回開催 ・6月25日(土) 相談件数31件 ・3月11日(土) 相談件数29件 ◇相談会と併せて、相続に関する研修会を実施 研修参加者 延べ49名 ・6月25日(土) 講師:司法書士 辻 徹 氏 参加者29名 ・3月11日(土) 講師:司法書士 水島敏裕 氏 参加者20名		

事業名	心配ごと相談	事業区分	自主事業
事業概要	相談所を開設し、日常生活のあらゆる不安や悩みごとの相談に応じる。		
取組内容	◇民生委員による相談 ・毎月第3水曜日 年12回実施。相談10件。 ◇よろず相談：随時相談受付。相談440件。		

事業名	法律相談	事業区分	市受託事業
事業概要	日常生活での様々な法律に関する困りごとに対応し、無料で弁護士に相談できる機会を設ける。		
取組内容	◇弁護士による専門相談 ・毎月第3水曜日 年12回実施。相談75件。		

事業名	生活困窮者自立支援事業・家計改善支援事業	事業区分	市受託事業
事業概要	生活困窮者からの相談に応じ、必要な情報提供及び支援を通じて世帯の自立促進を図る。		
取組内容	<p>◇生活保護に至る前の生活困窮者に対する相談支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規相談受付件数 54 件 ・自立相談支援プラン策定者 11 人、家計相談支援プラン策定者 4 人 <p>◇緊急支援事業の実施:12 人、延べ 25 件</p> <p>◇フードドライブ事業の実施:寄付 140 件</p> <p>◇生活相談支援関係機関実務者連絡会議:2 回実施</p> <p>◇支えあいの地域づくり研修会 講師 岡山県ひきこもり地域支援センター ひきこもり支援コーディネーター 葉山朝子 氏 「ひきこもりの理解と支援について」</p> <p>◇ひきこもり調査の実施:民生委員・児童委員に調査依頼</p> <p>◇「ぴおーらキッチン(地域食堂・交流事業)」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぴおーら食堂(地域食堂)など、食とふれあいを通じたつながりと居場所づくり ・ぴおーら BOX 配布:準要保護児童世帯で希望があった 33 世帯に向けて食料品等を配布。 <p>◇新見公立大学生への食料品配布(2 回実施)延べ 300 人</p> <p>◇フードドライブ等に関する出前講座の実施</p> <p>◇家計改善に関する職員研修</p>		

事業名	法人後見・権利擁護推進事業	事業区分	市受託事業
事業概要	判断能力が低下した方への法的な支援を行う法人後見事業と権利擁護の地域連携ネットワークの中核を担う機関として幅広い相談支援を行う。		
取組内容	<p>◇法人後見事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見人等の受任:令和 5 年 3 月末受任件数 22 件、新規受任 8 件、終了 5 件 ・市民後見人との複数後見受任 3 件 ・内部監査の実施 5 月 24 日 ・法人後見運営委員会開催 5 月 10 日 <p>◇成年後見制度利用相談、利用促進、後見人支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見相談センター(中核機関)の運営:相談件数 38 件 68 回 ・法人後見等移行支援事業の実施 2 件 ・後見人等への相談支援(親族後見人、市民後見人等):相談件数 5 件 ・1 月 24 日 市民後見人を対象としたフォローアップ研修の開催 市民後見人 7 名参加 内容「成年後見人就任前・就任後の活動について」講師:弁護士 大山知康 氏 「市民後見人になって感じたこと」発表者:市民後見人 福澤一義 氏 <p>◇成年後見制度、権利擁護の普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12 月 10 日 権利擁護推進セミナーの開催 参加者 65 名 内容「成年後見制度の概要と市民後見人との連携」講師:司法書士 福田啓吾 氏 「市民後見人の活動と意義」講師:市民後見人 眞木留子 氏 ・成年後見制度研修会、出前講座の実施 5 月 17 日(介護支援専門員協会新見支部 10 名)、6 月 24 日(がんこじいさんの会 20 名) ・市民向け成年後見制度パンフレットの作成 ・社協だよりでの広報・・・11 月号、1 月号、3 月号 ・「なんでも相談会」の開催(年 2 回) <p>◇中核機関としての体制整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政関係部署との協議 3 回 ・家庭裁判所との連携 9 月 30 日 家事関係機関との連絡協議会への参加 ・権利擁護委員会 10 回・権利擁護協議会 1 回 		

事業名	日常生活自立支援事業	事業区分	県社協受託事業
事業概要	認知症高齢者、障がい者など判断能力の不十分な人を対象として、福祉サービスの利用援助や金銭管理を行うことで安心した生活が送れるように支援を行う。		
取組内容	◇判断能力が不十分な方の書類手続及び金銭管理支援 ・利用状況：28人（認知症高齢者4人、知的障がい者14人、精神障がい者9人、その他1人） ・生活支援員：（活動）11人（登録）1人		

事業名	生活福祉資金貸付事業	事業区分	県社協受託事業
事業概要	低所得者や高齢者、障がい者世帯などに資金を貸し付け、経済的支援及び相談援助により自立を図る。		
取組内容	◇低所得・障がい者世帯等への資金貸付により、世帯の自立を図る ・相談件数 10件 ◇新型コロナウイルス感染症の影響で休業や失業等により減収した方を対象とした特例貸付 ・緊急小口資金特例貸付4件、総合支援資金特例貸付7件 ・新型コロナ特例貸付相談件数 75件		

事業名	家族介護者のつどい・くつろぎの家	事業区分	自主事業
事業概要	在宅介護者同士の交流や心身のリフレッシュの機会を設け在宅福祉の推進を図るとともに、介護者が参加しやすいよう要介護者の一時預かり（くつろぎの家）を行う。		
取組内容	第1回：6月18日 介護者のつどい 11人 くつろぎの家 4人 「在宅介護者の災害時における心構え」新見市総務課危機管理室 主査 長田友昭氏 「紙漉で暑中見舞いを送ろう」紙の館 第2回：10月29日 介護者のつどい 16人 くつろぎの家 4人 「芸術の秋～心と体で音楽を感じよう～」新見ウインドアンサンブル 「在宅介護におけるストレス解消法等」地域包括支援センター 保健師 安達彩永氏 第3回：2月18日 介護者のつどい 13人 くつろぎの家 5人 「歌って踊って元気になろう」音楽健康指導士 吉村淳子氏 「ひなまつり『結び雛』の作成」前田眞里子氏		

事業名	ピオーラカフェ	事業区分	市受託事業
事業概要	認知症やその家族、地域の方が気軽に参加でき、交流や専門職への相談ができる場をつくることで、認知症への理解を促進する。		
取組内容	第5回：5月25日 参加者20人 「薬剤師から学ぶ認知症」そうごう薬局新見店 薬局長 川本和明氏 第6回：7月27日 参加者11人 「お口のケアは大丈夫ですか」新見市健康医療課 保健師 本田香織氏 第7回：9月28日 参加者17人 「からだをいっぱい動かそう」渡辺病院 理学療法士 小林まり子氏 第8回：11月30日 参加者11人 「訪問看護師による認知症ケア～本人と家族への支援～」 訪問看護ステーションくろかみ 看護師 小郷寿美代氏 第9回：1月25日 参加者6人 「感染症とその予防について」新見市看護協会 保健師 戸田康治氏 第10回：3月22日 参加者21人 「こころもからだも元気になる体操」ヨガインストラクター 三村幸子氏 毎回、大学生ボランティアによる大学生企画コーナーを実施		

事業名	障害者移動支援	事業区分	市受託事業・自主事業
事業概要	車いす使用者等、福祉車両での移動が必要な方及びその家族に対し、福祉車両の貸出を行う。また、ボランティア活動者に対して10人乗りワゴン車等の貸出を行う。		
取組内容	◇障害者移動支援事業(受託事業) ・障がいや傷病により、福祉車両が必要な方への貸出 53回 ◇ボランティア等車両貸出(自主事業) ・地区社協等が行う買い物ツアー等、地域活動者等への車両貸出 48回		

事業名	地域における公益的取組の促進	事業区分	自主事業
事業概要	日常生活または社会生活上の支援を必要とする人に対し、ニーズに応じて、無料または低額な料金で福祉サービス等を提供する。また、その目的達成のため、市内の社会福祉法人が連携して、制度の狭間の課題などに連携して取り組む。		
取組内容	新見市社会福祉法人連絡協議会(10社会福祉法人11事業所で組織。) ◇総会:6月2日 13名出席 ◇事業推進会議 ・生活困窮者支援会議:7月26日 7名出席 ・災害支援会議 :7月26日 9名出席 :9月27日 8名出席 ・法人運営会議 :10月27日 9名出席 :12月2日 7名出席 ◇取組内容 ・フードドライブ活動 :11月を強化月間とし、各法人で職員を対象に食品募集。87人、396点 ・ぴおーらキッチン :12月17日 7名参加 ※フードドライブ・ぴおーらキッチンは社協主催事業に共催 ・研修会開催 :令和5年2月15日 45名参加 「不適切なケアから考える認知症ケア」をテーマに講演及び演習 ・チラシの配布 :にいみ社協だより3月号に折込チラシとして全世帯に配布 ・要望書の提出 :新見市へ要望書提出 10月11日 「エネルギー高騰における社会福祉施設等への支援に関する要望書」 12月19日 「福祉・介護人材の確保等に関する要望書」		

介護保険事業

【居宅介護支援事業】

	延べ認定調査	延べ居宅サービス計画	延べ介護予防 居宅サービス計画
中央	77件	1,684件	68件
神郷	36件	1,018件	81件
計	113件	2,702件	149件

【下記目標数値は、令和4年度事業計画に掲載したもの。各事業同】

	目標支援件数(件/月)	実績(件/月)	達成率(%)
中央	128.0	139.3	108.8
神郷	96.0	84.6	88.1

※神郷：育休中の職員がいたため。

【 訪問介護事業 】

	訪 問 介 護		総合事業訪問介護	
	利用者数(月平均)	延べ利用回数	利用者数(月平均)	延べ利用回数
中 央	40.1 人	3,309 回	34.5 人	2,028 回
神 郷	19.0 人	1,425 回	16.5 人	987 回
計	59.1 人	4,734 回	51.0 人	3,015 回

	目標時間数(時間/日)	実績(時間/日)	達成率 (%)
中 央	22.2	22.1	99.5
神 郷	11.5	9.5	82.6

※神郷：利用希望日に対して職員の勤務態勢が確保できなかったため。

【 通所介護事業 】

	通 所 介 護		総合事業通所介護	
	利用者数(月平均)	延べ利用回数	利用者数(月平均)	延べ利用回数
中 央	56.9 人	5,410 回	27.2 人	1,274 回
神 郷	39.3 人	3,499 回	13.2 人	743 回
計	96.2 人	8,909 回	40.4 人	2,017 回

	目標利用者数(人/日)	実績(人/日)	達成率 (%)
中 央	28.0	27.5	98.2
神 郷	19.0	17.5	92.1

【 訪問入浴介護事業 】

	訪 問 入 浴 介 護		介護予防訪問入浴介護	
	利用者数(月平均)	延べ利用回数	利用者数(月平均)	延べ利用回数
中 央	8.1 人	382 回	0 人	0 回

	目標利用者数(人/日)	実績(件/月)	達成率 (%)
中 央	3.0	2.6	86.7

※入院や死亡等による利用者数減。大雪、コロナによる営業休止のため。

障害福祉サービス事業

【 居宅介護事業 】

	利用者数(月平均)	延べ利用回数
中 央	3.0 人	115 回
神 郷	1.5 人	102 回
計	4.5 人	217 回

【 障害者デイサービス事業 】

	利用者数(月平均)	延べ利用回数
中 央	1. 0 人	4 7 回

【 移動支援事業（個別支援） 】

	利用者数(月平均)	延べ利用回数
中 央	0 人	0 回

【 障害者訪問入浴サービス 】

	利用者数(月平均)	延べ利用回数
中 央	1. 0 人	3 5 回

在 宅 福 祉 事 業

【 障害児入浴サービス事業 】

○ 1 8 歳未満の身体障がい児の入浴サービス

施 設 名	利用者数(月平均)	延べ利用回数
神郷ヘルプセンター	0 人	0 回

【 高齢者等生活応援隊事業 】

○概ね65歳以上のひとり暮らし高齢者等支援が必要な方に対する、ホームヘルプサービス

施 設 名	利用者数(月平均)	延べ利用回数
中央ヘルプセンター	0 人	0 回
神郷ヘルプセンター	0 人	0 回
計	0 人	0 回

【 新見市産後ヘルパー訪問事業 】（受託事業）

○産後の体調不良により家事が困難な家庭等に対する、ホームヘルプサービス

施 設 名	利用者数	延べ利用回数
中央ヘルプセンター	3 人	4 7 回
神郷ヘルプセンター	0 人	0 回
計	3 人	4 7 回

【 子育て支援ヘルパー訪問事業 】（受託事業）

○児童の養育が困難で子育て支援が必要な家庭に対する、ホームヘルプサービス

施 設 名	利用者数	延べ利用回数
中央ヘルプセンター	1 人	1 5 回
神郷ヘルプセンター	0 人	0 回
計	1 人	1 5 回

団体活動支援

○各種機関との連絡調整、事業実施における支援を行い、団体の自立を推進した。

◇新見市老人クラブ連合会
◇新見市遺族連合会
◇新見市身体障害者福祉協会
◇新見市福祉ボランティアの会・神郷地域ボランティア協議会・哲西町ボランティア協議会

ボランティア保険加入促進

種類	加入数		備考
活動保険	128件	3,387人	加入年度に適用される保険
行商用保険	94件	10,799人	1行事のみに適用される保険

※上記のほか送迎サービス補償、福祉サービス総合補償などでボランティア活動を推進。

人材育成活動

○大学・高等学校、一般の社会福祉士、介護支援専門員、看護師等の実習生を受け入れ、同行訪問等現場実習の指導を実施。

- ・新見公立大学 地域福祉学科4年生 コミュニティ・ソーシャルワーク実習2名受入
前期6月20日～7月1日、後期7月11日～7月29日（全24日間）
- ・新見公立大学 地域福祉学科4年生 介護実習4名受入（各5日間）
6月20日～6月24日（2名）、6月27日～7月1日（2名）
- ・新見公立大学 看護学科4年生 在宅看護実習33名受入（各2日間）
- ・岡山県介護支援専門員実務研修見学実習 1名受入（3日間）